



にいざ 歴民だより

平成 27 年 1 0 月 (第 1 4 号)

発行：新座市立歴史民俗資料館

新座市片山 1-21-25

TEL:048-481-0177



園庭の「実りの秋」温州ミカン

今年の夏は記録的な猛暑でスタートしましたが、8月下旬からは一転、晩秋を思わせるような肌寒い雨の日が続きました。

9月1日は防災の日。その後の台風に伴う豪雨は茨城・栃木県をはじめ、関東各地に甚大な被害をもたらし、災害に対する備えをあらためて考えさせられました。

9月23日は「秋分の日」。そして、9月27日は「中秋の名月」(十五夜)でした。そして、10月に入ると「実りの秋」！いよいよ秋も深まり、お祭りシーズンがやってきます。歴史民俗資料館も11月3日(文化の日)に「特別講座」を開催します。「文化の日」を過ごすに相応しい、楽しい催し物を準備中です。皆さん、お誘い合わせの上ご参加ください。詳しくは裏面をご覧ください。

夏休み子ども講座

「僕が子どもだったころ～昔のにいざの子どもたち～」を開催しました！



子どものころの思い出
を語る瀧島さん

8月21日(金)資料館研修室にて、「夏休み子ども講座」を開催しました。例年、野火止用水をテーマとしている「夏休み子ども講座」ですが、今年は趣向を変えて、新座に生まれ新座で育った瀧島浩二さんをお招きし、今からおよそ50～60年ほど前の子ども時代のお話を伺いました。子ども時代の思い出を描いた画集「童で綴る郷土」の作者でもある瀧島さん。この日のためにお持ちくださった数点の作品をベースに、子どもには珍しく、大人には懐かしい遊びや生活のエピソードの数々を伺う機会に恵まれ、2時間という時間枠もあっという間に過ぎていきました。(来年も実施予定です。)

市内文化財めぐり「片山周辺を訪ねて Part2」を開催しました！



文化財めぐりの風景

9月26日（土）午前9時30分から正午まで、「片山周辺を訪ねて Part2」と題して、片山南部地区の文化財めぐりを実施しました。前回同様約4キロ弱と少し長めのコースでしたが、ガイドを務める学芸員の楽しくわかりやすい解説と秋のさわやかな陽気に助けられ、足取りも軽やかに多くの文化財を見聞し、楽しいひとときを過ごすことができました。

今年度の文化財めぐりはこれで終幕となりますが、来年度は舞台を大和田地区に移し、片山地区とは少し違った文化財をお楽しみいただく予定です。ご期待ください！！

「文化の日特別講座」開催のご案内

毎年、文化の日（特別開館日）に開催していた「歴民の集い」を今年度から「文化の日特別講座」と改称し、開催する運びとなりました。

講師に大東文化大学教授・新座市教育委員の宮瀧交二先生と講談師の神田山吹師匠をお招きして、松平伊豆守信綱の半生を語り昨年度好評だった歴史講義と講談を行います。

宮瀧先生の軽妙洒脱なシナリオと神田師匠の力強い語りが織りなす郷土ゆかりの「知恵伊豆」こと松平伊豆守信綱の活躍を描いた物語をお楽しみください。

【日時】11月3日（火）午後1時30分開演～午後4時まで
（午後1時から受付開始）

【場 所】歴史民俗資料館 研修室

【講 師】大東文化大学教授・新座市教育委員 宮瀧交二先生

【講談師】神田山吹師匠（女流講談師）

【定 員】20人（市内在住、在勤又は在学の高校生以上の方が対象です。）

【申 込】10月1日（木）から直接又は電話で歴史民俗資料館までお申し込みください。
（定員に達し次第締め切ります。）

※ 今年度から「甲冑着用体験」は実施いたしません。ご了承ください。



昨年の「歴民の集い」
松平伊豆守をテーマとした
講談の様

「市民文化財講座」の開催予定

月日の流れは早いもので、あっという間に今年も残すところおよそ3か月。そして歴民の今年度の講座も残すところあと1件となりました。

その講座は、「新座の地名とその由来～地名に秘められた物語～」です。新座各地区の名称の由来について、特に地名研究に造詣が深い志木市にお住まいの郷土史家・神山健吉先生をお招きしてお話を伺います。

※ 詳しくは「広報にいざ」1月号でご案内します♪